

そうじゃ

わたしたちが考え、
わたしたちが実行するまち

天満屋ハピータウン総社駅前店 解体開始

総社の玄関口 駅前が変わる

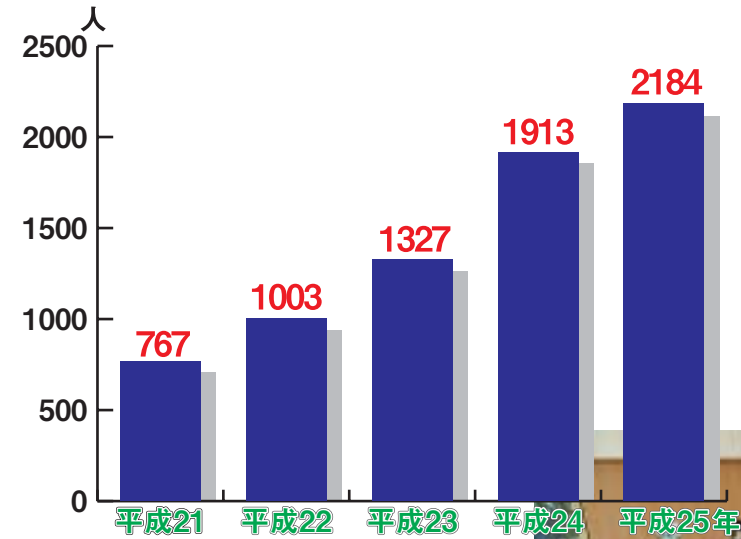


CONTENTS

- 総社のしくみが変わる…… 2
- あなたの町内にも自主防災組織を…… 22
- おかやまマラソンと共存共栄…… 6
- 輝いている人…… 25
- お知らせ…… 12
- フォトニュース…… 26



数字で見る そうじゃ



ハローワーク総社管内1か月の有効求人人数(6月分)

8月9日に市が主催する就職面接会を総合福祉センターで開催。市内で就職を希望する新規学校卒業生など約100人が、希望する企業のブースを回り、担当者の説明に熱心に耳を傾けていた



有効求人人数 地域に密着した就労支援

ハローワーク総社管内（総社市と旧真備町地域）の1か月間の有効求人人数が増加しています。平成25年6月は2184人で、前年同期に比べ271人増加しました。1.0より高いと、仕事を探している人の数よりも求人のほうが多いことを示す有効求人倍率は1.17となり、雇用環境に明るさが見えています。

企業誘致・立地も進み、雇用の場が増加するなか、市では就労支援と地元企業の人材確保のため、新規大学・高校卒業生や未就労者などを対象とした就職面接会を、ハローワーク総社や総社商工会議所などと共催で開催しています。市内の製造業や福祉・医療関係など多くの企業が参加。地元での就職を希望する人が効率的に企業の情報を収集で

きるよい機会となっています。

また、「就労支援ルーム」をハローワーク総社の2階に設置。常駐の市職員とハローワーク総社の職員が双方の専門分野を生かし、生活困窮者や障がい者、日系外国人などにワンストップで就労支援を行っています。平成25年6月の利用者は延べ740人。平成23年7月に業務を開始して以降、着実に成果を上げています。

これまで雇用対策は国、ハローワーク、県を中心に行われ、市町村の役割は限定的でした。しかし、総社市では地域の雇用施策を関係機関と連携しながら主体的に進め、市民の雇用促進と企業の安定的な雇用確保につなげていきます。